

## ◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が572例(男性291例(10歳代27例, 20歳代62例, 30歳代45例, 40歳代47例, 50歳代43例, 60歳代32例, 70歳代17例, 80歳代9例, 90歳代2例, 年齢非公開7例), 女性272例(10歳代19例, 20歳代56例, 30歳代37例, 40歳代35例, 50歳代41例, 60歳代30例, 70歳代27例, 80歳代11例, 90歳代7例, 年齢非公開9例), 性別及び年齢非公開9例)あり, 本年の累積報告数は5,969例になりました。

新型コロナウイルス感染症の患者数が急増しています。手洗いやマスクの着用など, 感染予防を徹底しましょう。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり, 本年の累積報告数は10例となりました。

## ◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第18週, 本市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者が572例報告され, 本年の累計陽性者数は5,969例になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 84例(肺結核 31例, その他結核 30例, 潜在性結核感染者 23例)うち喀痰塗抹陽性 10例】
- 新型コロナウイルス感染症 572例【1月以降の累積報告数 5,969例】  
男, 291例(10歳代27例, 20歳代62例, 30歳代45例, 40歳代47例, 50歳代43例, 60歳代32例, 70歳代17例, 80歳代9例, 90歳代2例, 年齢非公開7例)  
女, 272例(10歳代19例, 20歳代56例, 30歳代37例, 40歳代35例, 50歳代41例, 60歳代30例, 70歳代27例, 80歳代11例, 90歳代7例, 年齢非公開9例)  
性別及び年齢非公開, 9例
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 10例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ <sup>a</sup>	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.72	74
	② RSウイルス感染症	0.93	40
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	11
	④ 突発性発しん	0.21	9
	⑤ 咽頭結膜熱	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

## 【次ページ以降の主な内容】

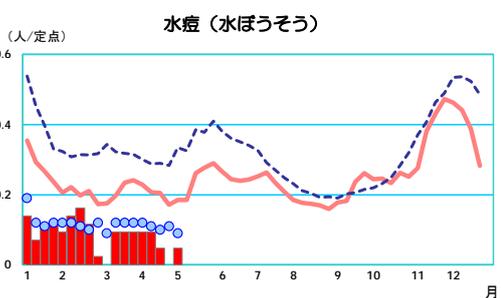
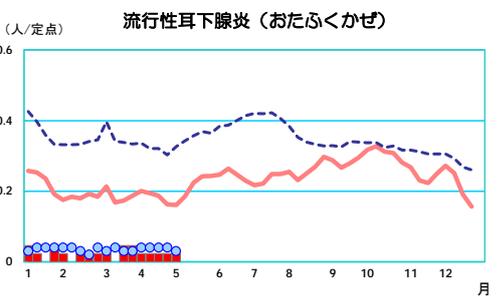
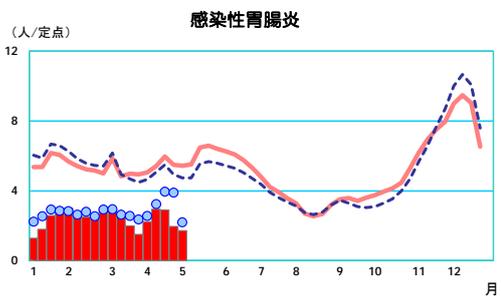
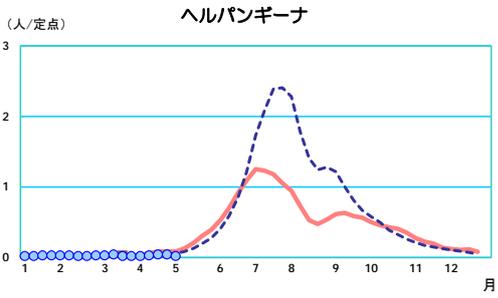
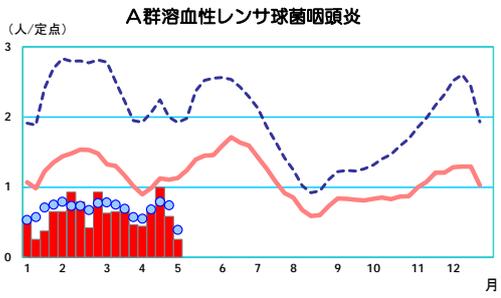
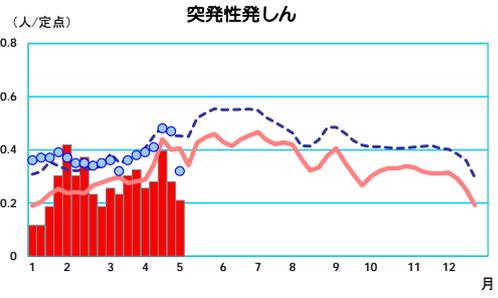
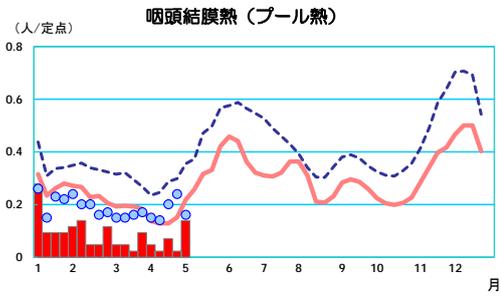
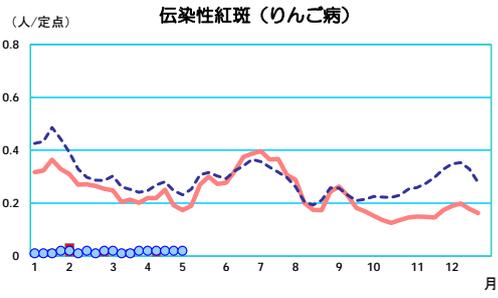
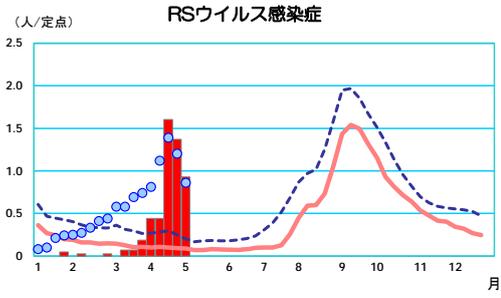
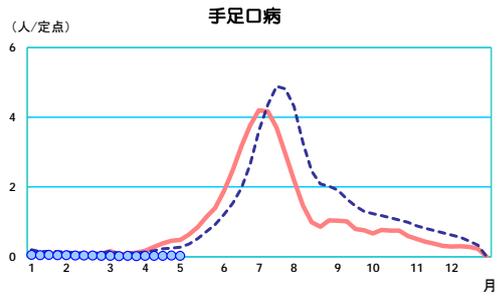
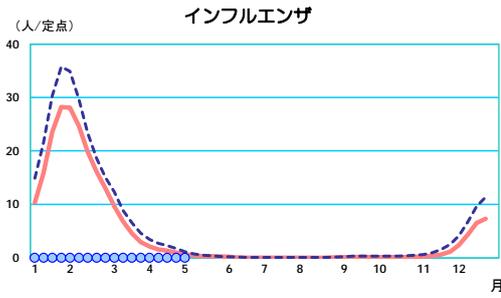
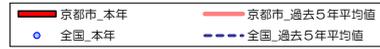
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年5月13日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

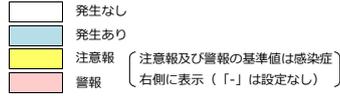
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

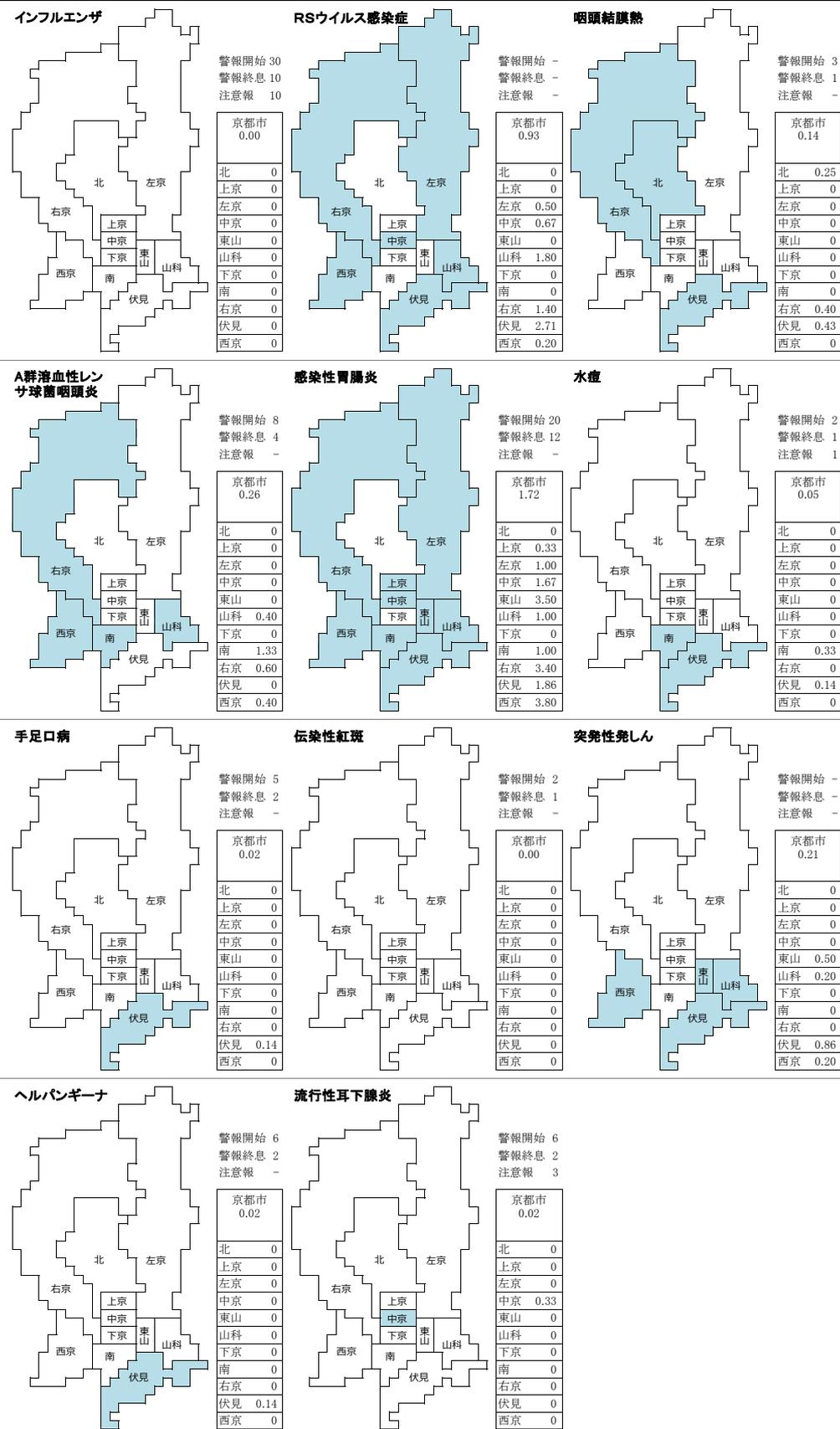
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年第18週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



## 第18週(5月3日～5月9日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第18週,本市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下,陽性者)が572例報告され,本年の累計陽性者数は5,969例になりました。本市における昨年の陽性者数は3,369例なので,今年は既に昨年のおよそ1.8倍の陽性者が報告されたこととなります。

国内で特に大きなCOVID-19の流行があった各都市(五大都市及び神戸市,沖縄県)と本市の人口10万人あたりの新規感染者数の推移を比べると,昨年8月頃に沖縄県,同11月頃に札幌市,今年1月頃に東京都,同4月頃から現在では大阪市を最多とするピークが見られます(図1)。

図1をみるかぎり,COVID-19の国内流行の特徴として,(1)流行が起こる主な都市が入れ替わる,(2)3ヶ月前後の周期で流行を繰り返す,(3)流行のたびに規模が大きくなる,この3点が挙げられます。(1)の原因は分かりませんが,今なお流行のさなかにありますので,検討ができる段階ではないのかもしれませんが。(2)については,1回目の緊急事態宣言の後は次の流行が起こるまで約4ヶ月とやや長く,昨年12月初旬の流行から今年1月の流行までが1ヶ月と短かったのに比べて,2回目の緊急事態宣言後は3ヶ月と比較的長い間が空いています。これらのことから,緊急事態宣言により感染者が一定程度減少したことが,流行周期に影響を与えていたと思われます。

一方,昨年2月頃からほぼ全ての定点把握疾患の報告数は激減しており,特に成人も対象であるインフルエンザはほぼゼロになっています(図2)。同時期に手洗いやマスクの着用などの感染症対策が推奨されているので,この感染症対策が功を奏したと言えるでしょう。しかし,それほどの感染症対策を行ってきたにもかかわらず,(3)のように流行が拡大し続けています。これは,COVID-19は時に1人の感染者から10人以上に感染が広がるなど(\*),局所的な感染力はインフルエンザよりも高いと予想されること,マスクをしない特定の条件(三密での食事など)が感染成立に特に適しているとされることの2つが原因と考えられます。

ここで,本市の各年齢・性別人口1,000人あたりの陽性者数をみると,最も少ない年代は10歳未満,最も多い年代は20歳代でした(図3)。10歳代並びに30歳代～50歳代はおおむね同程度で,60歳代及び70歳代はやや少ないですが,80歳以上は10歳代と同程度でした。性別では80歳以上を除く全年齢階級で男性の方が多く,年齢階級・性別ごとの陽性者に占める死亡者の割合(致命割合)も男性の方が高くなっています。また,80歳以上は性別によらず,他の年代に比べて非常に高い割合となっています(表1)。よって,20歳代と80歳以上の年代は特に注意が必要ですが,どの世代も感染を広げたり重症化したりする危険は常にあります。こまめな手洗いとマスクの着用を心がけるとともに,お互いに思いやりを持って慎重に行動しましょう。

- 厚生労働省では,新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)
- 京都市では,新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

【緊急事態宣言(3回目)】  
まん延防止等重点措置(4/12～)に続いて4/25～

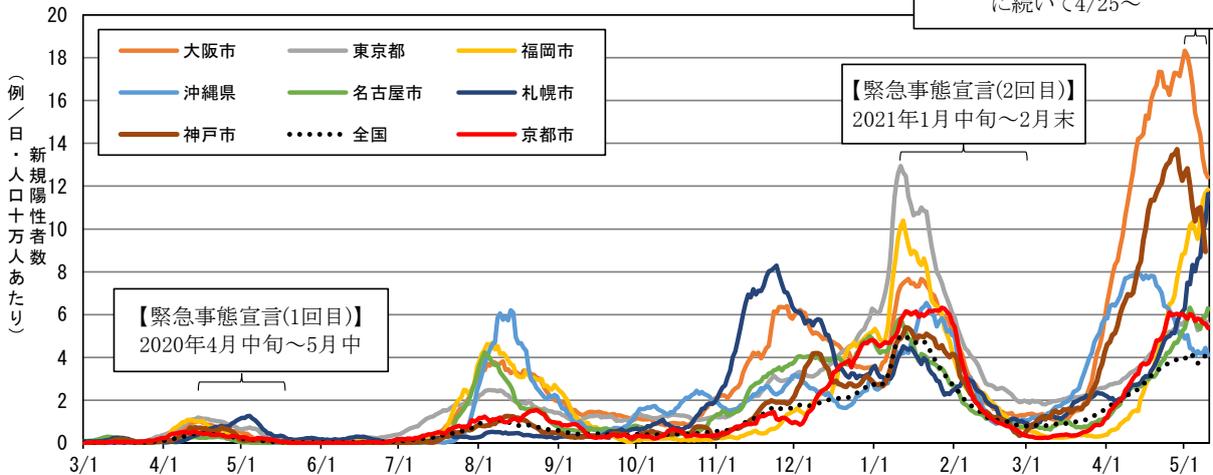


図1. 国内各都市のCOVID-19新規陽性者数の推移(週移動平均) #

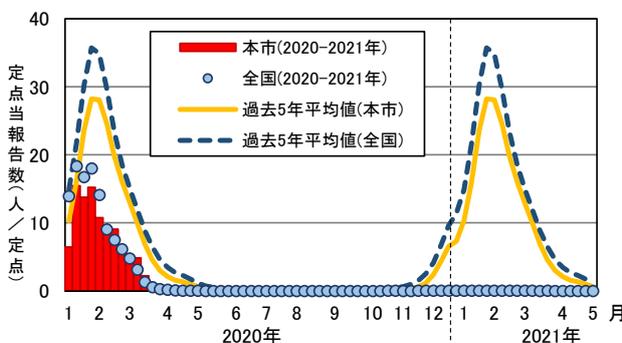


図2. 本市のインフルエンザの定点当たり報告数の推移

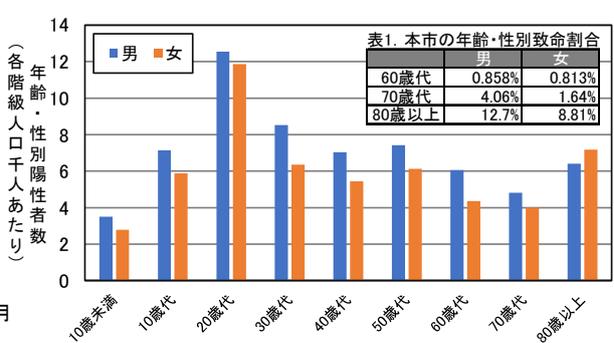


図3. 本市の年齢・性別のCOVID-19陽性者数 \$

【注釈・参考文献】(参考文献は2021年5月11日閲覧。)

(\* ) たとえば,本市は陽性者の77.7%が二次感染者が見つかっていないが,2021年5月11日までに新たな感染者が5人以上見つかった症例が72例,10人以上見つかった症例が9例報告されている。

( \$ ) 2021年5月11日までに本市でHER-SYSに登録された症例を集計した。

( # ) 各自治体または厚生労働省のホームページのデータを基に作成。

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>  
<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000502869.html>  
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/hokenyobo/health/kansen/cohs.html>  
[https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chihikihoken/kekkaku/covid19\\_hasseijoukyou.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chihikihoken/kekkaku/covid19_hasseijoukyou.html)  
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>  
<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/flkansen/2019n-covhassei.html>  
[https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/covid\\_19.html](https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/covid_19.html)  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第18週

疾病,行政区別報告数

2021年5月3日～2021年5月9日

データ入手日:2021年5月13日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	2	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	9	-	2	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	7	2	3	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	19	3	-	13	1	1	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	1	-	2	19	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	40	6	11	74	2	1	-	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.67	-	-	1.67	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1.80	-	0.40	1.00	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.33	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	1.40	0.40	0.60	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	2.71	0.43	-	1.86	0.14	0.14	-	0.86	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	0.20	-	0.40	3.80	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.93	0.14	0.26	1.72	0.05	0.02	-	0.21	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第18週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年5月3日～2021年5月9日

データ入手日:2021年5月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	40	2	7	14	11	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	-	-	2	-	1	1	-	2	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		74	1	3	12	7	11	7	4	1	4	5	4	8	3	4	-	-	-	-	-	-	-
水痘		2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.93	0.05	0.16	0.33	0.26	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.14	-	-	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.26	-	-	0.05	-	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.72	0.02	0.07	0.28	0.16	0.26	0.16	0.09	0.02	0.09	0.12	0.09	0.19	0.07	0.09	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.07	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第18週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年5月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	8	19	19	69	59	40
咽頭結膜熱	4	2	1	3	1	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	19	28	43	25	11
感染性胃腸炎	65	96	127	125	84	74
水痘	4	4	4	2	-	2
手足口病	2	-	-	2	-	1
伝染性紅斑	-	-	1	-	-	-
突発性発しん	14	11	12	17	12	9
ヘルパンギーナ	1	2	2	3	-	1
流行性耳下腺炎	2	1	1	1	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	2	1	-	3	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	121	156	196	265	185	145

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	0.19	0.44	0.44	1.60	1.37	0.93
咽頭結膜熱	0.09	0.05	0.02	0.07	0.02	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	0.44	0.65	1.00	0.58	0.26
感染性胃腸炎	1.51	2.23	2.95	2.91	1.95	1.72
水痘	0.09	0.09	0.09	0.05	-	0.05
手足口病	0.05	-	-	0.05	-	0.02
伝染性紅斑	-	-	0.02	-	-	-
突発性発しん	0.33	0.26	0.28	0.40	0.28	0.21
ヘルパンギーナ	0.02	0.05	0.05	0.07	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.20	0.10	-	0.30	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.81	3.78	4.63	6.16	4.53	3.37

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。